

令和7年度 東北ブロック

再犯防止 シンポジウム

2026/2/6 fri
@せんだいメディアテーク
1F オープンスクエア



ようこそ！

初めまして！
東北矯正管区マスコットキャラクターの
「**管くまちゃん**」です。
今年度の再犯防止シンポジウムについて
このページでどんどん**紹介**していくよ！



再犯防止シンポジウムって何？

広く国民の皆様に再犯防止についての関心と理解を深めるために、法務省が、全国8ブロックにおいて主催する催しです。

刑法犯で検挙された人の**約半数**が再犯者という状況が続く中、誰もが安心して安全に暮らせる社会を目指すため、**社会課題としての再犯防止**を、一緒に考えてみませんか？



今年のテーマは！

『**民間協力者**による

社会課題解決としての

再犯防止の取組』です！



再犯防止の取組では、様々な点で地域の力が必要であり、多くの民間協力者に支えられています。

プログラム



Time table

11:00～ 整理券配布（限定100枚）

13:00 開場

13:30～ 第一部 特別講演
パネルトーク

15:50～ 第二部 交流会

17:00 閉場

再犯防止に尽力
する民間協力者の
現状を知ろう！

再犯防止の
関係者と交流して、
つながろう！

Q&A

Q 特別講演やパネルトークを聴講したいのだけど、事前申込の必要はありますか？

A 事前申込の必要はありません。混雑が予想されますので、当日の整理券配布を御活用ください。

Q 交流会に参加するのに、必要なものはありますか？

A 直接担当者などとの交流することができますので、名刺等をお持ちいただけると、連絡先を交換する際にスムーズかと思います。

Q 途中から参加（途中で退場）しても良いですか？

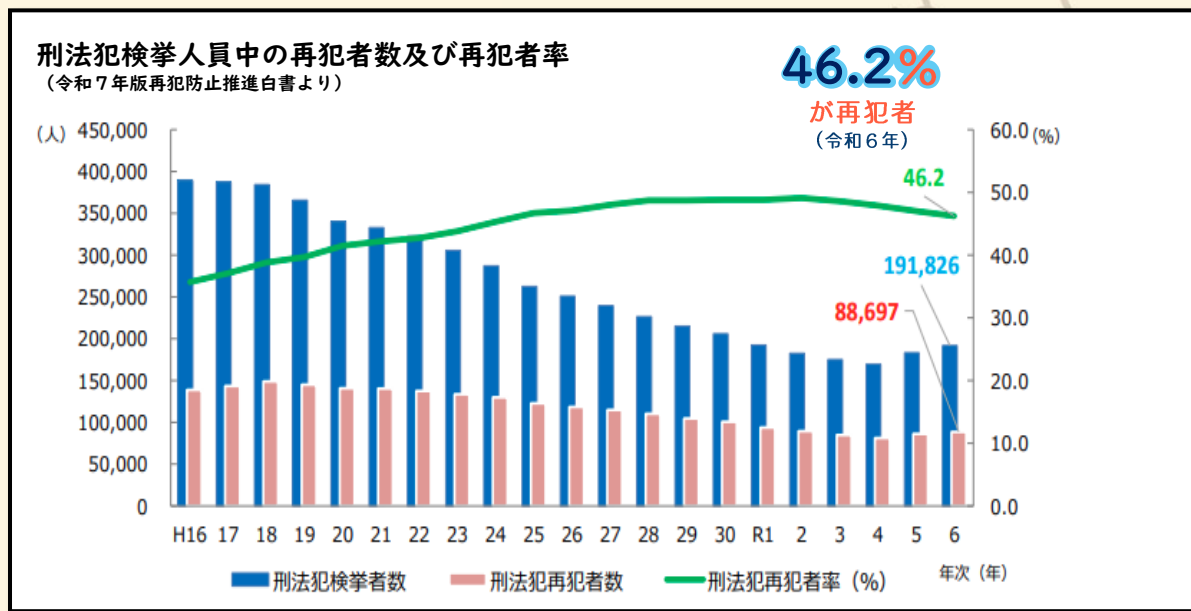
A オープンスペースでの開催ですので、入退場は他の聴講者様に支障が生じない範囲であれば自由です。

その他来場に関するご不明点などは、
東北矯正管区更生支援企画課（022-286-0130）までお問合せ下さい！

●「再犯防止」の現状

知っていますか？

刑法犯で検挙された人の約半数が再犯者です。



様々な「生きづらさ」を抱え、

1人きりでは立ち直ることが難しい状況の人がいます。

例えば…受刑者はこんな状況を抱えています (R6法務省調べ)



65歳以上が13.8%



犯罪時に無職が68.5%



精神障害のある人が22.0%



犯罪時に住居不定が20.7%

出所後、適切な支援につながらなければ再犯に至るリスクが高い

- ✓ 再犯防止は、安全・安心な地域社会をつくるための取組です。再犯者を減らすことは、地域の中の犯罪を1件でも減らし、被害者を1人でも減らすことにつながります。
- ✓ 受刑者の中には出所後もきちんと自分の罪と向き合って生きるために、適切な医療や福祉につながる必要がある人が多くいます。
- ✓ 受刑者もいつかは地域に戻ります。地域の中で「責任ある大人」として生きるためには、地域に「居場所(住居)」と「出番(就労等)」が必要です。

で私 ●民間協力者の皆様 きたることに

犯罪や非行をした人たちの改善更生や社会復帰は、地域定着支援センター、篤志面接委員、教誨師、保護司、BBS会、協力雇用主、福祉法人、居住支援法人、医療機関、ボランティア団体など、各種指導や支援に協力いただく皆様そして、地域の皆様の理解によって支えられています。



社会貢献作業（活動）

社会の中で役に立つという経験を通じ、豊かな人間性や社会性を涵養することが、改善更生・社会復帰の第一歩になります。



これらの活動も、民間協力者による援助や地域の理解が無ければ実施できません。

●様々な支援の形の可能性

本シンポジウムでは
社会課題として再犯防止に取り組む
わたしたちにできる支援の形を
一緒に考えませんか？

社会貢献の場
の提供

広報啓発活動

偏見をなくす

支援者の
活動支援

地域とともに…



令和7年度 東北ブロック

再犯防止シンポジウム

2026/2/6 fri

@せんだいメディアテーク

1F オープンスクエア

●特別講演

見学から見た社会課題

特別講演講師

ロバート キャンベル 氏

日本文学研究者

早稲田大学特命教授

せんだいメディアテーク館長

早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）顧問

2025 年日本国際博覧会協会 理事

東京大学名誉教授

プロフィール

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、

特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。主な編著に『戦争語彙集』（岩波書店）、『よむうつわ』（淡交社）、『日本古典と感染症』（角川ソフィア文庫、編）、『井上陽水英訳詞集』（講談社）、『東京百年物語』（岩波文庫）等がある。



11月17日、18日
仙台市内にある矯正施設
（宮城刑務所、東北少年院、青葉女子学園）
を見学していただきました。

初めて見て、感じた、矯正施設の中の



再犯防止という社会課題について
お話しいたします。



再犯防止シンポジウム

2026/2/6 fri

@せんだいメディアテーク

1F オープンスクエア



株式会社
LITALICO
長谷川 隆 氏

「障がいのない社会をつくる」を理念に、就学・生活・就労をサポート。H30触法者に対する支援業務を開始し、青葉女子学園での指導に協力する。



一般社団法人
SAVE IWATE
寺井 良夫 氏

被災地域の復興を支援する団体として尽力。能登半島地震で廃棄対象となった漆器の再生活動において、盛岡少年刑務所と連携する。



認定NPO法人
Switch
今野 純太郎 氏

R6～宮城県刑務所出所者等就労・定着ネットワーク事業「リ・トライ！」にて、行政等と連携し、息の長い個別伴走支援に取り組んでいる。

● パネルトークパネリスト

地域（民間協力者）との連携事例と 矯正の現場から…



宮城刑務所 山口 賢治 所長
東北少年院 馬場 尚文 院長



ロバート キャンベル氏と語る
立ち直りの現場と地域とのつながり

なぜ、
社会とのつながりが
必要なのか。

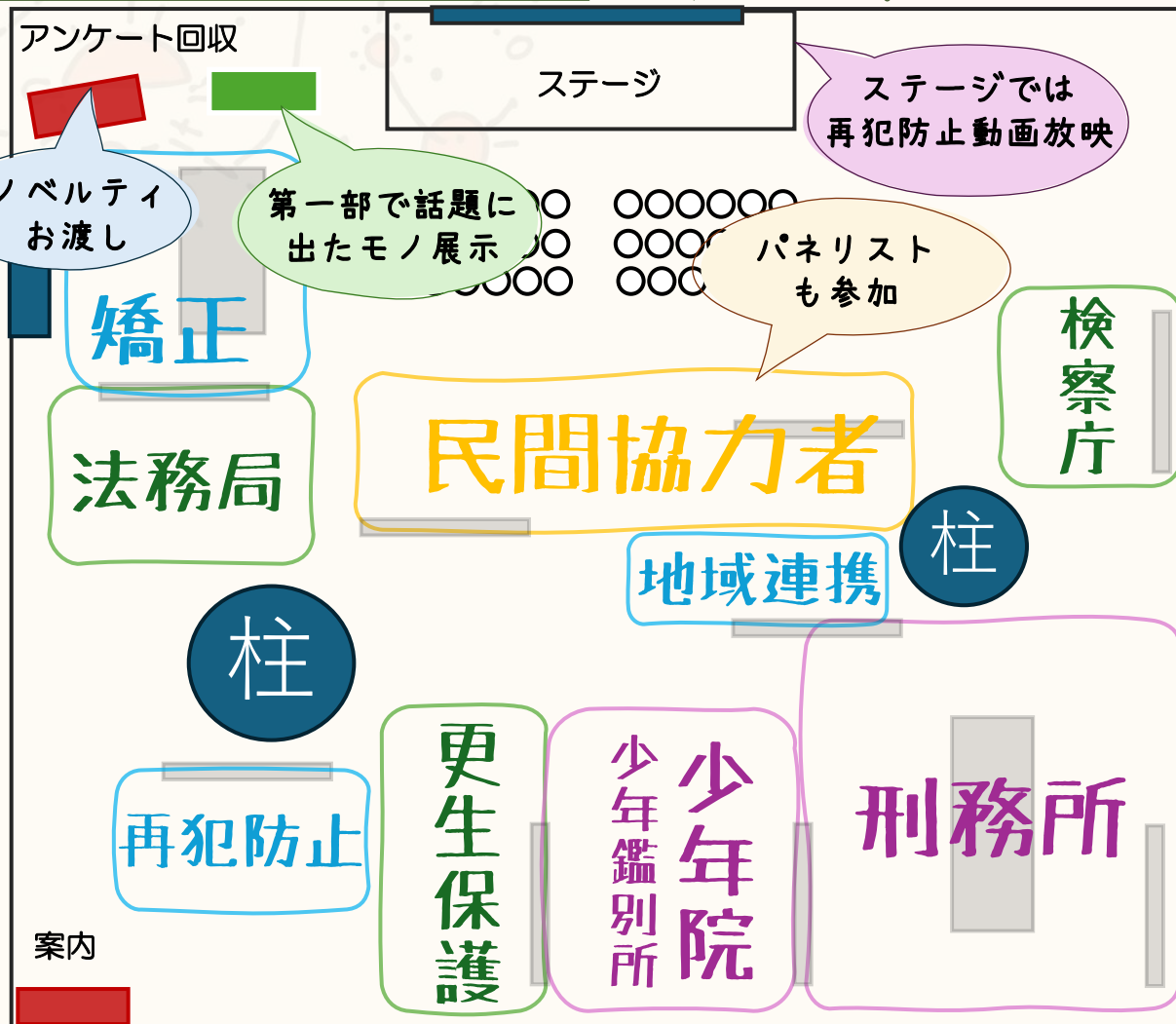
地域による包摂の推進と

安全で豊かな社会の実現に向けてできることは…

安心・安全な社会のために
今できること。

第二部交流会 会場案内

交流会は、パネリストをはじめとする民間協力者、関係機関、法務省機関がパネル展示等を行いますので、御自由に御覧いただき、御質問や御意見を直接お声がけください。



定禅寺通側

は各展示内容のエリアを示しています。

交流会参加団体

●パネリスト団体

株式会社 LITALICO パートナーズ
一般社団法人 SAVE IWATE
認定NPO法人 Switch

●その他民間団体

明治安田生命相互保険会社
アサヒユウアス株式会社

●法務省関係機関

仙台高等検察庁、仙台地方検察庁、
仙台法務局、宮城県人権擁護委員連合会
東北地方更生保護委員会
東北矯正管区、管内刑事施設（刑務所）
管内少年院、仙台少年鑑別所



いろいろ見てね♪

刑務所作業製品も
多数展示!!